



Sekisyo 通信



R6・5・2

NO. 5

文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

☆☆☆ キーワードは自主性と自律性 ☆☆☆



←左の写真をご覧ください。

子どもだけで川に近づいている！よく見ると小さい子も交じっている！?なんだかとても楽しそう。

そんな感想を持った人も多いかと思います。実はこの写真は、先日行ったフレンド活動の1コマです。

石小では今年、児童会活動を教育の柱の一つとして取り組んでいます。委員会活動や係り活動だけでなく、様々な場面で、子ども達のアイデアや自発性を大切に、児童の課題でもある

「自主性」を育てたいと考えています。この日のフレンド活動は、1年生から6年生までが縦割りのチームに分かれ、それぞれの計画で3・4校時と昼食時間を合わせたおおよそ3時間自由に活動します。スタッフのアドバイスはありますが、企画・運営・準備と全て児童が中心となって進めます。

写真のチームは、この日のメインに水鉄砲遊びを計画しました。写真はすぐ近くの今出川で、6年生が下学年の子ども達一人一人のペットボトルに水を汲んであげているシーンです。下学年の子ども達の後ろ姿から待ちきれない様子も伝わってきます。その後はもちろん、水鉄砲合戦が盛大に開催されました。この日は予想以上の好天、全身ビショビショになってとことん水鉄砲合戦を楽しんだ子ども達です。(安心してください、ちゃんと着替は準備していますから。)

1年生の歓迎会の目的を持つこの日のフレンド活動、遊びの内容や昼食場所はチームごとに決定しました。石尊山で昼食をとったり、町民グラウンドでドッジボールをしたり…と、活動はそれぞれのチームの計画に沿って行われます。

校庭での出発式で担当者から、

1年生から6年生が、お互いのよいところを見つける一日にしてください。

と、いう簡単でしたが、大切なメッセージがありました。

「全く知りませんでした。」と前出の水鉄砲のチーム担当スタッフは苦笑いしながら、びしょ濡れの子ども達の様子を見守ります。話し合いの時間も限られていましたので、後から6年生が他の子ども達一人一人に伝えた計画だったのかもしれませんが、しかし、当日の朝、いくつものペットボトルを抱えて登校する6年生はとても楽しそうでした。下級生や忘れた子の分を用意してきたのでしょう。

自主性と自律性はセットです。ルールや決まりを守ったり、我慢したりする自律性がないところに自主性は育ちません。一見危なそうな行為も良くみると、6年生だけが川に近づいて水を汲んでいますし、下学年の子ども達には優しく着替えるよう声掛けもしています。そこには間違いなく自律性が存在しました。全てのチームを見ることはできませんでしたが、失敗やトラブルもあったことと思います。しかし、自分たちで話し合っただけの内容です。責任も生まれます。この日は、全員が怪我も体調を悪くする子もなく、昼食後には、無事校庭での閉会式を終えることが出来ました。

石小では年間4回のフレンド活動を予定しています。本年は10周年記念行事もありますので、自主性がどう育っていくかとても楽しみです。キーワードは「自主性と自律性」です。

※フレンド活動の様子はHPでご覧ください。



ひと月が過ぎ、明日からゴールデンウィーク後半、そして…。

昨日は、引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。実施後の考察はこれからですが、駐車場がとても混雑していたとのこと、今後の解決すべき課題の一つとしたいと思います。他にもお気づきの点等ありましたら、情報をお願いします。

さて、新年度からひと月が経ちました。昨年度の年末年始、インフルエンザBと感染性胃腸炎の大流行により、毎日50人近い欠席者がいたことを思うと、大変順調なスタートを切れましたこと感謝いたします。新年度が始まって4週間が経ちますが、この間、体調を崩しての欠席者は1日平均片手に収まる程度です。子ども達の新年度にかける意気込みが感じられます。

新しい学年、新しいクラスメイト、担任の先生も変わり気持ちも新たにこの4週間で頑張った子ども達も多いかと思えます。**反面、疲れが出るのもこの時期です。**例えば、6年生を例にとると、春から、委員会や縦割り班ではリーダーとなり、小さい子への気遣いも忘れず、運動会を1ヶ月に控え、昼休みも鼓笛の練習に費やした4月でしたので、否でも多少のストレスは溜まるものです。しかし、確実に最高学年としての自覚が高まり、**根気強く取り組むことで自信が形となりつつあります。**他の学年の子ども達にも同じことが言えます。発達段階こそ違いますが、環境の変化を自分なりに受け入れ、担任や担当者の指示や思いを理解しようと努力した一か月です。家に帰った子ども達の口から愚痴や不満が飛び出すこともあったかもしれません。

この時期教師は、なんとか**学習の習慣化を図ろうと懸命です。**それには、ゴールデンウィーク前のひと月が一つの節目となります。集団生活の中では、一人一人に寄り添いながら時には厳しい言葉をかけることも必要となります。特に一年生は、これまでとは違い椅子に座って授業に参加する時間が長くなりますから、いかに学習の楽しさを味わわせ、集中力を保たせるかが重要なポイントとなります。しかし、個人差もあり注意することも多くなりますので、保護者の皆様には不安も大きい一か月だったかと思えます。**私たちを信じてご理解、ご協力くださいましたこと心より感謝いたします。**

5月病という言葉があります。一昔前までは就職した新入社員を対象とした言葉でしたが、子ども達にも当てはまるのが最近が多いようです。希望と緊張感の中、頑張った一か月ですが、ゴールデンウィークを境に…という事例は後を絶ちません。どうか、**この一か月に次に生かすためにも、連休の過ごし方にもご配慮をお願いします。**

その1、とにかく規則正しい生活をする。(食う・寝る・遊ぶ<歩く>)

その2、SNSに時間を費やし過ぎない。(スマホは児童には必要ない物として指導しています)

その3、体を休め、心をリフレッシュさせる。(体調と相談して様々な取り組みを)

季節がら、習い事やスポーツ少年団の活動も書き入れ時ですので、忙しい子ども達も多いことと思いますが、どうか無理をさせずに、子ども達の体調と相談しながらの取り組みをお願いします。連休明けは、**子どもの人気ナンバーワン行事、運動会が待っています。**当日だけでなく練習も楽しんでほしいと思いますし、今年は何年といっても創立10周年！特別企画を準備していますのでどうぞご期待下さい。

どうぞ、楽しいゴールデンウィークを。

